

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

2016
July
vol.229

7

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは映画の保存を目的とする国際団体です。福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

特別企画

総合図書館開館20周年記念

映画で見る名作文学選

日本の名作文学を原作とした映画の特集。



火宅の人



溼東綺譚 ©1960東宝

ノルウェイの森 ©2010ノルウェイの森|村上春樹/アスミック・エース、フジテレビジョン

破戒 ©1948松竹株式会社



22(金) 14:00 / 28(木) 11:00 / 31(日) 14:00



監督: 深作欣二
出演: 緒形拳 いしだあゆみ
1986年/35ミリ/カラー/132分/東映

桂は40過ぎの作家で5人の子持ち。妻が亡くなり、ヨリ子と結婚するが彼女は宗教にのめり込む。家庭に嫌気がさした桂は、愛人の恵子と暮らす。やがて放浪の旅に出た桂は葉子と出会う。檀一雄の自伝ともいえる同名小説の映画化。小説は傑作と評価が高いが、本作も大ヒットし、様々な映画賞を独占した。主人公をめぐる様々なタイプの女性の配役が見事である。

火宅の人

17(日) 14:00 / 28(木) 14:00 / 30(土) 14:00



監督: 田坂具隆
出演: 佐久間良子 河原崎長一郎
1963年/35ミリ/カラー/137分/東映

京都の遊郭・夕霧楼の女将かつ枝は、貧しい家庭の娘・夕子を夕霧楼に連れてくる。美しい夕子にはすぐに旦那が付く、見つけ話もでる。そんな時鳳閣寺の修行僧・正順が夕子と遊ぶようになる。水上勉の同名原作の映画化。金閣寺の放火事件を背景としており、虐げられた環境に育った二人の美しい純愛ドラマとなっている。興行的にも成功し田坂具隆監督の代表作となった。

五番町夕霧楼

23(土) 11:00 / 27(水) 14:00 / 31(日) 11:00



監督: 熊井啓
出演: 奥田瑛二 渡辺謙
1986年/35ミリ/モノクロ/123分
「海と毒薬」製作委員会

昭和20年、九州F市のF帝国大学医学部。橋本教授と権藤教授による医学部内の権力争いがあった。ある日研究生の勝呂と戸田は橋本教授に呼び出され、捕虜であるアメリカ兵の生体解剖を手伝わされる。遠藤周作の同名原作の映画化。九州大学で行われた米兵の解剖事件を元にしたショッキングな作品。リアルな演出が話題となった。ベルリン映画祭銀熊賞を受賞。

海と毒薬

18(月・祝) 11:00 / 24(日) 11:00 / 29(金) 11:00



©1966松竹株式会社
監督: 市村泰一
出演: 坂本九 加賀まりこ
1966年/35ミリ/カラー/90分/松竹

東京物理学校を卒業した小川大助は、数学教師として四国・松山の中学校に赴任する。大助は生徒から「坊っちゃん」とあだ名をつけられる。熱血漢の大助は校長や教頭の横暴に対して真っ向から対立する。夏目漱石の同名原作の映画化。何度も映画化されているが、本作は坂本九が坊っちゃんを演じ、多くのコメディアンも出演、明るく楽しい娯楽映画となっている。

坊っちゃん

8(金) 14:30 / 16(土) 11:00 / 18(月・祝) 14:00



©2009フジテレビジョン ババドゥ 新潮社
日本映画衛星放送
監督: 根岸吉太郎
出演: 浅野忠信 松たか子
2009年/35ミリ/カラー/114分
フジテレビジョン=ババドゥ=新潮社=日本映画衛星放送

終戦後の東京。小説家の大谷は飲み屋で金を盗んで逃走する。大谷の妻・佐知は弁償のため飲み屋で働くが、あつという間に評判になる。大谷は大酒を飲んで借金をし、浮気を繰り返すのだった。太宰治の短編小説を元に脚本化した作品。才能はあるがだらしない主人公と、それを支える明るい妻の対比が好印象。モントリオール映画祭で最優秀監督賞を受賞。

ヴィオラの妻 桜桃とタンポポ

7(木) 14:00 / 10(日) 11:00 / 15(金) 11:00



©1975東宝
監督: 西河克己
主演: 山口百恵 三浦友和
1975年/35ミリ/カラー/93分/東宝

伊勢湾にある人口1400人の歌島。18歳の久保新治は、島で最も大きな船を持つ宮田の娘・初江と出会う。初江は他所に預けられていたのだ。ある日二人は偶然山で出会い、意気投合する。しかし島の噂になり、初江は外出を禁じられてしまう。三島由紀夫の同名原作の映画化。山口百恵主演のアイドル映画だが、本作で初めて山口百恵と三浦友和は恋人同士の役を演じる。以来ゴールデンコンビとして二人は数多くの作品で共演する。

潮騒

13(水) 14:00 / 16(土) 14:00 / 21(木) 14:00



©2010「ノルウェイの森」村上春樹/アスミック・エース、フジテレビジョン
監督: トラン・アン・ユン
出演: 松山ケンイチ 菊地凜子
2010年/35ミリ/カラー/133分
アスミック・エース=フジテレビジョン

ワタナベは、高校時代に親友のキズキが自殺したことで空虚な大学生活を送っていた。ワタナベはある日キズキの恋人だった直子と再会し、二人は惹かれあう。しかし直子の喪失感が大きく、京都の療養所に入院してしまう。世界的ベストセラーとなった村上春樹の同名原作の映画化。監督トラン・アン・ユンはフランス在住のベトナム人で、村上作品のファンであると語っている。本作は世界50か国で上映され話題となった。

ノルウェイの森

3(日) 14:00 / 14(木) 11:00 / 23(土) 14:00



©東映
監督: 森田芳光
出演: 松田優作 藤谷美和子
1985年/35ミリ/カラー/130分/東映

明治後期の東京。長井代助は30過ぎても職をもたず気ままな生活をしていく。ある日親友の平岡が銀行を辞めて東京に帰ってくる。平岡の妻・三千代はかつて代助が想いを寄せた女性だった。夏目漱石の同名原作の映画化。明治初期の雰囲気を感じており、監督は「漱石の読後感を、映画を観て感じられるようにしたかった」と語る。日本アカデミー賞作品賞・監督賞など受賞。

それから

映画で見る

名作文学選

日本の名作文学を原作とした映画の特集。

会期：7月1日(金)～7月31日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)
※「わの会」会員は300円。(会員証の提示が必要です。)

1(金) 14:00 / 9(土) 11:00 / 27(水) 11:00



監督：黒澤明
出演：三船敏郎 京マチ子
1950年/35ミリ/モノクロ/88分/大映

羅生門

平安時代。羅生門で雨宿りをする木こりと旅法師は、自分たちが裁判で証言した事件について話し合う。それは裁判で証言した者のいう事がすべて食い違うという不思議な事件だった。原作は芥川龍之介の「藪の中」。登場人物が自分に都合良い証言を行い、真実が全く分からないという不思議な物語。ヴェネチア映画祭グランプリ、アカデミー賞外国語映画賞などを受賞し、世界の映画作家に影響を与えた黒澤明監督の傑作である。

2(土) 14:00 / 22(金) 11:00 / 30(土) 11:00



監督：小林恒夫
出演：高峰三枝子 南廣
1958年/35ミリ/カラー/85分/東映

点と線

福岡市の香椎の海岸で男女の死体が発見される。男は課長補佐の佐山で女は東京の料亭で働くお時だった。心中事件と見えたがベテラン刑事の鳥飼は殺人の可能性を感じる。松本清張の同名原作の映画化。当時の香椎駅周辺で撮影がされている。刑事たちのトリック解明に重点が置かれているが、社会派のミステリーとしても十分楽しめる。

6(水) 14:00 / 8(金) 11:00 / 10(日) 14:00



©1959東宝
監督：豊田四郎
出演：池部良 山本富士子
1959年/35ミリ/モノクロ/140分/東宝

暗夜行路

時任謙作は母と祖父の間にできた子供だった。しかし本人はこの事実を知らないため、何故幼馴染の愛子と結婚できないのか分からなかった。傷心の謙作は京都に旅行し、そこで直子という女性に出会う。志賀直哉の同名原作の映画化。長い原作をモノローグ等を使って豊田監督は簡潔に映画化している。また純粋に謙作を愛する直子を演じる山本富士子が大変魅力的である。

7(木) 11:00 / 9(土) 14:00 / 15(金) 14:00



©1960東宝
監督：豊田四郎
出演：山本富士子 芥川比呂志
1960年/35ミリ/モノクロ/120分/東宝

瀬東綺譚

東京、向島。通称「玉の井」と呼ばれた地域に娼婦のお雪は暮らしていた。教師の種田は家庭の不満から「玉の井」を訪れお雪と知り合う。次第にお雪に惹かれていく種田は教師を辞めようと考え。永井荷風の同名原作の映画化。本作は永井荷風没1周年記念として作られた。失われゆく色街へのノスタルジーを感じさせる作品。

3(日) 11:00 / 24(日) 14:00 / 29(金) 14:00

たけくらべ

明治28年、吉原に近い大音寺界隈。大黒屋の美登利は姉の大巻が吉原で有名だったことから、わがまま放題だった。美登利は竜華寺の信如が好きだったが、二人の関係は子供の恋以上のものではなかった。お祭りの日、美登利は表町のリーダーとして、対立する横町の子供たちと乱闘を起こしたりするのだが、彼女にも吉原に出る日が近づいていた。樋口一葉の同名小説の映画化。美空ひばりが美登利を演じているが、他の映画と違って本作では美空ひばりは歌を歌わない。純粋に俳優としての美空ひばりが素晴らしい存在感を見せている。原作では美登利



監督：五所平之助
出演：美空ひばり 北原隆
1955年/16ミリ/モノクロ/95分/新東宝

と信如の恋愛ドラマの印象が強いが、本作はより明治の情緒を際立たせ、遊郭で育つ女性の哀れさ悲しさを感じさせる。吉原を再現した美術も素晴らしい傑作である。



2(土) 11:00 / 14(木) 14:00 / 17(日) 11:00



©1948松竹株式会社
監督：木下恵介
出演：池部良 桂木洋子
1948年/16ミリ/モノクロ/99分/松竹

破戒

明治35年、信州の小学校で教師をする瀬川丑松は、被差別部落出身であることを隠していた。丑松は自由民権の論客である猪子に心酔していたが、猪子が部落出身を隠さないことで、自らを恥じるのだった。島崎藤村の同名原作の映画化。木下恵介監督は脚本家の進言に従い原作を読まずに映画化。丑松とお志保の恋愛ドラマなど、青春映画の趣が強い作品となった。



映 画 で み る 名 作 文 学 選	1 金		14:00 羅生門
	2 土	11:00 破戒	14:00 点と線
	3 日	11:00 たけくらべ	14:00 それから
	4 月		休 館 日
	5 火		休 映 日
	6 水		14:00 暗夜行路
	7 木	11:00 暹東綺譚	14:00 潮騒
	8 金	11:00 暗夜行路	14:30 ヴィヨンの妻 桜桃とタンポポ
	9 土	11:00 羅生門	14:00 暹東綺譚
	10 日	11:00 潮騒	14:00 暗夜行路
	11 月		休 館 日
	12 火		休 映 日
	13 水		14:00 ノルウェイの森
	14 木	11:00 それから	14:00 破戒
	15 金	11:00 潮騒	14:00 暹東綺譚
	16 土	11:00 ヴィヨンの妻 桜桃とタンポポ	14:00 ノルウェイの森
	17 日	11:00 破戒	14:00 五番町夕霧楼
	18 月祝	11:00 坊っちゃん	14:00 ヴィヨンの妻 桜桃とタンポポ
	19 火		休 館 日
	20 水		休 映 日
	21 木		14:00 ノルウェイの森
	22 金	11:00 点と線	14:00 火宅の人
	23 土	11:00 海と毒薬	14:00 それから
	24 日	11:00 坊っちゃん	14:00 たけくらべ
	25 月		休 館 日
	26 火		休 映 日
	27 水	11:00 羅生門	14:00 海と毒薬
	28 木	11:00 火宅の人	14:00 五番町夕霧楼
	29 金	11:00 坊っちゃん	14:00 たけくらべ
	30 土	11:00 点と線	14:00 五番町夕霧楼
	31 日	11:00 海と毒薬	14:00 火宅の人



福岡市の図書館のあゆみ展

福岡市総合図書館は図書資料、文書資料、映像資料の3部門からなる多彩な機能を持った図書館として平成8年に開館して以来、本年6月29日で20周年を迎えます。

これを記念して、総合図書館設置の経緯や、総合図書館の前身である市民図書館など、福岡市における図書館のあゆみについて、歴史的公文書や資料を展示します。(入場無料)

展示期間 平成28年6月4日(土)～7月31日(日)※休館日除く
10:00～19:00(日曜祝日は18:00まで)

展示場所 総合図書館1階 ギャラリー

主な展示内容

- ◆江戸時代に櫛田神社にあった「櫛田文庫」資料(筑前名所図会)
- ◆明治時代の「私立福岡図書館」資料(軒瓦、福岡県名所図録図絵)
- ◆福岡市民図書館・こども図書館(S51～H7)開館時ポスター
- ◆福岡市総合図書館 開館時ポスター、開館記念グッズ など

【お問い合わせ】 福岡市総合図書館 文学・文書課 TEL092-852-0607

総合図書館
開館20周年記念

シネラポスターの20年

映像ホール・シネラの上映企画を広報するために作成したポスターを、毎年2枚ずつ選出し計40枚展示。20年間のシネラの上映企画の歩みをふりかえります。

展示期間 平成28年6月1日(水)～6月29日(水)※休館日除く

展示場所 総合図書館1階 展示ショーケース

観覧料 無料

【主催・お問い合わせ】 福岡市総合図書館 映像資料課 TEL092-852-0608

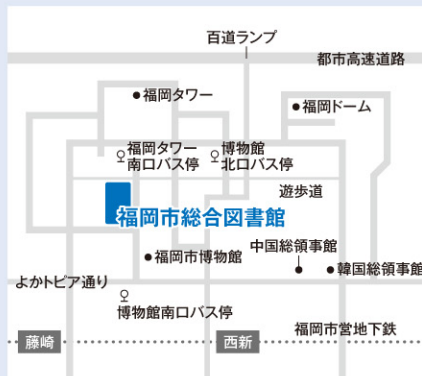
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。

第367回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日 時:2016年7月21日(木) 12:00～13:00 ※入場無料

場 所:西日本シティ銀行本店1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)

曲 目:チャイコフスキー作曲 弦楽四重奏曲第1番二長調「アンダンテ・カンタービレ」他

演奏者:福岡ハイドン弦楽四重奏団

主 催:西日本シティ銀行/公益財団法人福岡文化財団(TEL.092-473-6777)



音楽文化のリサイクル

レコード/CDお売り下さい!!

092-734-4198

〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-14 立花ビル2F (AM11:00～PM8:00)